

平成 29 年度 9 月防災避難訓練ホームルーム

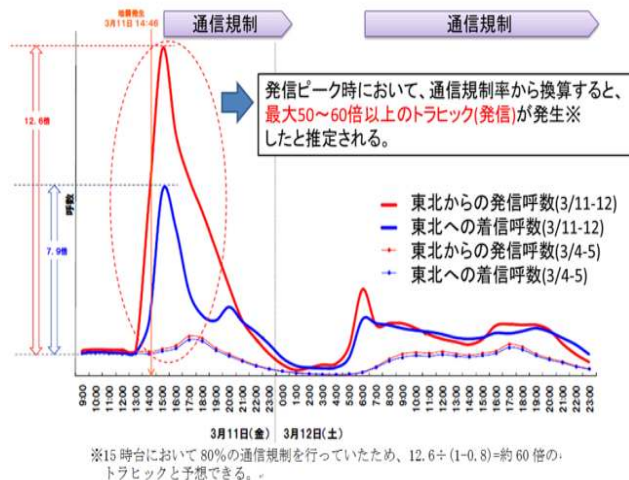
保 健 部

地震は突然発生する。その時、皆さんは学校にいるとは限りません。いつでもどこにいても自分の置かれた状況を冷静に判断し、安全な避難経路を選択するために、本日はビデオ「津波に備える」を視聴し、また、災害時における安否確認について学びます。

◎災害時の安否確認 ～伝言ダイヤル（音声）・伝言板（文字）～

地震などの大きな災害が発生すると、被災地への電話が大量に殺到し、回線が大変混雑し、つながりにくくなります。東日本大震災の直後も、携帯電話事業者によっては、最大で平常時の約 50～60 倍以上の通話が一時的に集中しました。通信各社では、こうした通信の混雑の影響を避けながら、家族や知人との間での安否の確認や避難場所の連絡等をスムーズに行うため、固定電話・携帯電話・インターネットによって、「災害用伝言サービス」を提供しています。

図：東北地域における携帯電話の輻輳発生と通信規制の例。



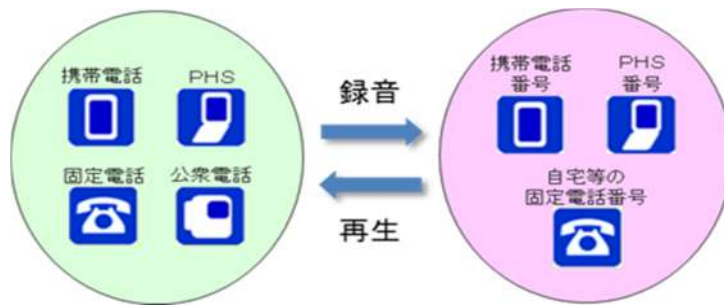
出典 「大規模災害等緊急事態における通信確保の在り方に関する検討会 ネットワークインフラ WG(第2回)」配付資料より作成。

【災害用伝言ダイヤル（171）】

災害時に、固定電話、携帯電話・PHS等の電話番号宛に安否情報（伝言）を音声で録音（登録）し、全国からその音声を再生（確認）することができます。

操作手順

1. **171** をダイヤルします。
2. ガイダンスに従って、録音の場合は **1** を、再生の場合は **2** をダイヤルします。
(暗証番号を付けて録音・再生を行うこともできます。)
3. ガイダンスに従って、連絡をとりたい方の電話番号をダイヤルします。
(0等の市外局番で始まる電話番号の場合、**市外局番から**ダイヤルします。)
4. 伝言を録音・再生することができます。



【災害用伝言板（web171）】

パソコンやスマートフォン等から固定電話や携帯電話・PHSの電話番号を入力して安否情報（伝言）の登録、確認を行うことができます。

操作手順

1. 災害用伝言板（web171） URL:<https://www.web171.jp/>へアクセスします。
2. 連絡をとりたい方の固定電話番号や携帯電話番号を入力します。
3. 伝言を登録・確認することができます。（事前に設定することで閲覧者を限定することもできます。）

参考リンク

災害用伝言板(web171)の詳細については、運営しているNTT（東西）のページを確認してください。

- [NTT 東日本](http://www.ntt-east.co.jp/saigai/web171/) <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/web171/>
- [NTT 西日本](http://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/) <http://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/>

◎家族とのミーティングポイント決めていますか？

電車が止まり、携帯電話もつながらない、自転車も使えない状況になったとき、家族の人たちと「連絡が取れなくなった時は、この場所で落ち合おう」という場所をひとつ決めておきましょう。



今日のホームルームで知ったことを家族の人にも伝えて、家族で「離散してしまったときはとにかくここを目指して避難」という場所を決めておいてください。

そして機会があれば、泉陽高校からサンスクエア堺まで、そしてサンスクエア堺から「家族とのミーティングポイント」までのルートを、自転車か徒歩で辿ってみて、距離感を体感しておくことをおすすめします。